

部活動のこれからについて 一緒に考えませんか？

～子どもを真ん中にしたウェルビーイングなまちの実現に向けて～
「京都市学校部活動及び地域クラブ活動推進方針」案についての意見募集

資料 2

概要版「子ども版」も掲載しています



方針案の詳細はこちらから

01 「京都版地域クラブ（仮称）」 「放課後活動」はじめます

- 生徒が平日・休日問わず、将来に渡って多様なスポーツ・文化芸術・STEAM※等の活動の中から、それぞれの志向に応じて主体的に選択できる環境を目指して、これまでの京都市立中学校の部活動を廃止し、部活動の教育的意義を継承する「京都版地域クラブ（仮称）」を創設したうえで、各校で「放課後活動」も実施します。

学校部活動

京都版地域クラブ（仮称）
（学校管理外）放課後活動
（学校管理内）

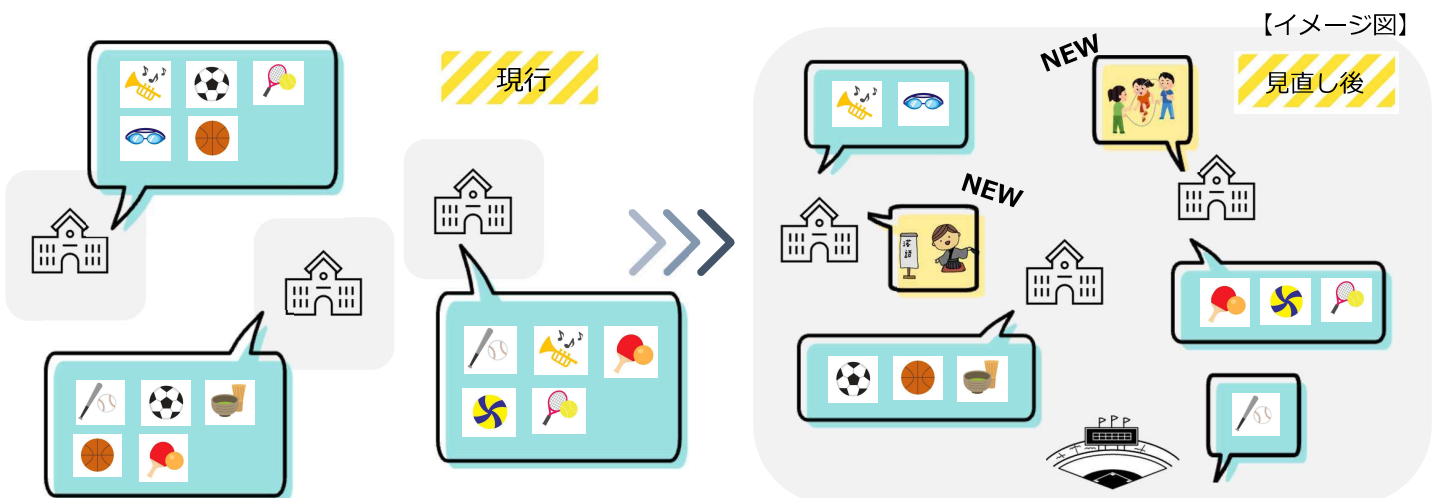
部活動をめぐる背景

少子化による生徒や部活動数の減少※により、学校に生徒の希望する部がなかったり、団体種目では少人数のため実戦的な活動ができなくなったりするなど、さまざまな課題が全国的に生じています。また、学校部活動は教員の長時間勤務の大きな要因の1つともなっています。（※京都市では、約30年間で生徒数が4割減となっています。）

02 「京都版地域クラブ（仮称）」とは

現在の部活動のような学校単位での設置ではなく、生徒の移動距離等を考慮した身近な地域ごとに、バランス良く活動場所や活動内容を設定します（イメージ図参照）。

また、「京都版地域クラブ（仮称）」は学校管理外の活動のため、指導者は地域や民間団体の方、大学生等が担うことを想定しており、学校だけでなく地域全体で生徒たちの健全な育成に関わっていきます。費用は原則本人負担です。



・学校ごとに様々な部活動（種目）を実施

- ・生徒の移動距離等を考慮し、身近な地域にバランスよく様々なクラブ（種目）の活動場所を設置します
- ・これまでになかった新しい活動も想定しています
- ・活動場所は学校が基本ですが、学校以外の施設利用も想定しています

※STEAMとは

科学・技術・工学・芸術・数学の5つの英単語の頭文字を組み合わせた造語。
科学 (Science)、技術 (Technology)、工学 (Engineering)、芸術・リベラルアーツ (Arts)、数学 (Mathematics) の5つの領域を対象とした理数教育に創造性教育を加えた教育理念。知る (探究) とつくる (創造) のサイクルを生み出す、分野横断的な学びです。

03 「京都版地域クラブ（仮称）」になるとどう変わるの？

これまで



- ✓ 在籍校で活動している部活のみ選択でき、希望する種目がないこともあります
- ✓ 多くの生徒が3年間同じ部活動に参加します
- ✓ 掛け持ちが難しいこともあります



- ✓ 在籍校だけでは部員が揃わず、実戦的な活動ができない場合もあります



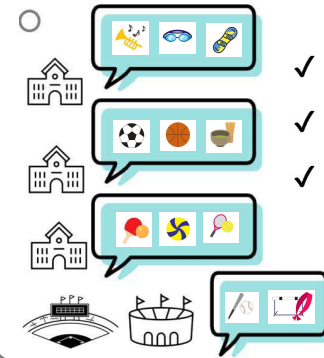
- ✓ 中学生だけの活動です



- ✓ 競技経験のない教員も顧問として指導しています

新しい姿

Point 01 選択肢が広がります



- ✓ 自校以外の活動も選択できます
- ✓ 複数の活動に参加できます
- ✓ 現在の部活動にない、新たな種目・活動もできます

Point 02 実戦的な活動ができます



- ✓ 学校の枠を越えて仲間たちと活動します
- ✓ 試合形式など実戦的な活動が可能になります

Point 03 中学生以外の多世代での活動が可能になります



- ✓ 中学生以外の多世代での活動も可能になります

Point 04 競技経験者や専門的な指導者から教えてもらえます



- ✓ 競技経験者や専門的な指導者から教えてもらえます
- ※指導者の適切な指導方法、生徒との関りに必要な研修等を実施します。

04 「放課後活動」とは

生徒の放課後の選択肢をさらに広げるため、平日完全下校の時刻(17時)まで、市立中学生に学校内での活動の場を確保します。「放課後活動」は学校管理内で実施しますが、活動内容は生徒が学校とともに主体的に考えて取り組むことが基本となります。費用負担は原則ありません。

Point 01 生徒が仲間と共に自分たちで取組を企画したり、時期に応じて活動内容を変えたりすることを想定しています

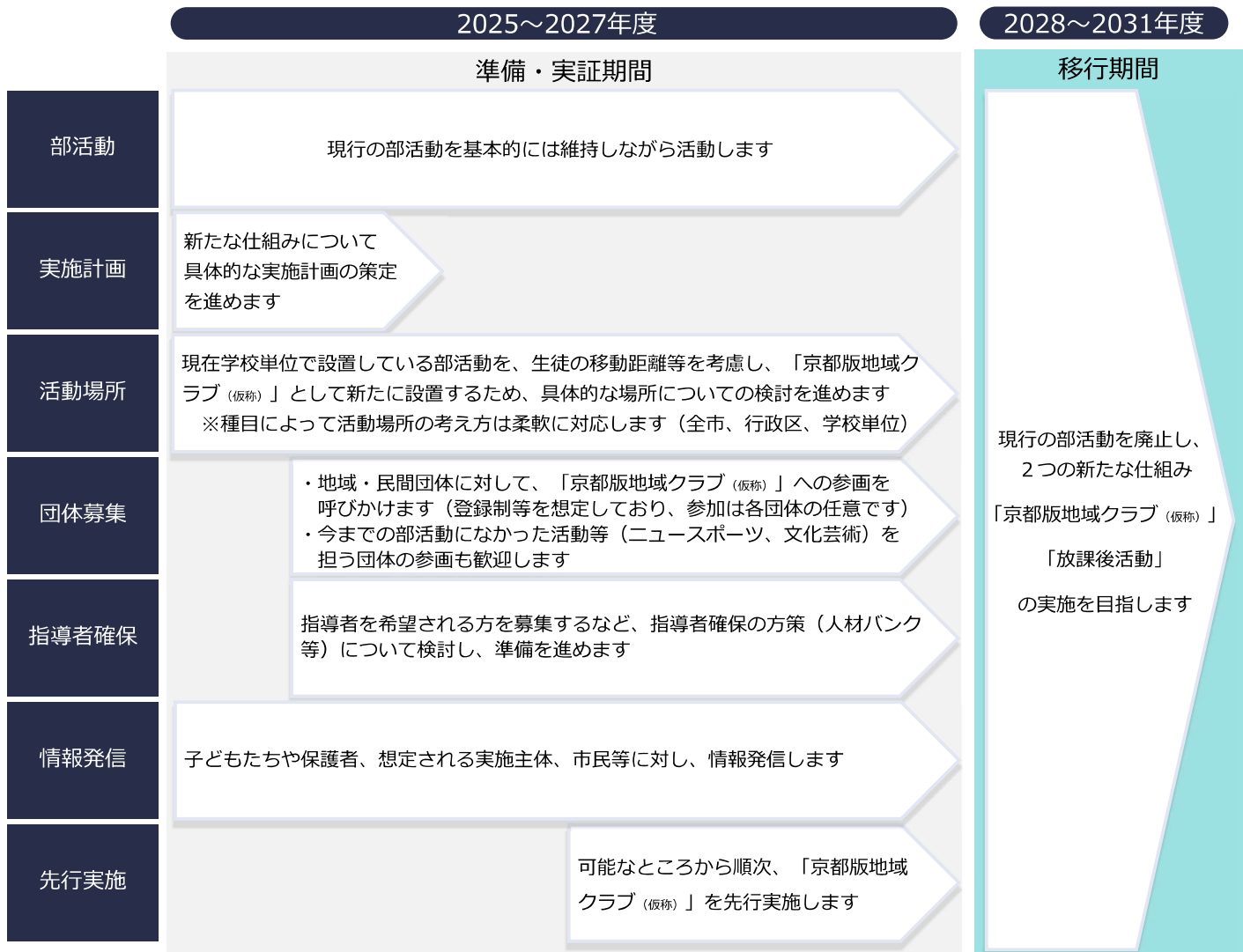
Point 02 教職員は従来の学校部活動の顧問のような指導者ではなく、安全面等での指導、生徒からの相談等、教育的な面から必要に応じて支援します

05 学校部活動・「京都版地域クラブ」(仮称)・「放課後活動」の概要

	これまで	新しい姿	
	学校部活動	京都版地域クラブ (仮称)	放課後活動
実施主体	学校・生徒	地域・民間の団体	学校・生徒
指導者	教員	地域・民間の指導者 (教職員の兼職兼業も想定)	教職員(支援) 外部人材
対象者	在籍校生徒	市立中学生、他	在籍校生徒
活動場所	在籍校	市立中学校、他	在籍校
費用負担	原則不要	原則本人負担	原則不要

今後のスケジュール

2027年度までは現行の部活動を維持しつつ、2028年度から「京都版地域クラブ」(仮称)の創設及び「放課後活動」の実施を目指します。



2024年度

今の小学校3年生が中学校1年生になる2028年度からのスタートを目指しています。

06 今後の諸課題について

課題への具体的な対応の方向性を盛り込んだ実施計画は、2025年度中を目途に策定します。

「京都版地域クラブ（仮称）」についての検討事項

- 設置する種目や場所の検討
- 実施主体の確保（既存のクラブチーム、大学、民間企業等との連携など）
- 指導者の確保、相談窓口
- 生徒の多様な志向に応じた活動の整備
- 「京都版地域クラブ（仮称）」としてのガイドライン等の策定（休業日の設定等）
- 学校施設活用に向けたガイドライン等の検討
- 生徒の移動手段の検討
- 参加費をはじめ費用負担のあり方の検討
- 教員の兼職兼業制度の検討（「京都版地域クラブ（仮称）」への参画）
- 大会の在り方について関係者と検討

「放課後活動」についての検討事項

- 円滑な実施に向けた共通理解と活動内容・日数等についての検討
- 外部人材活用についての検討

07 ご意見お待ちしております！

本市では、全ての学校に学校運営協議会を設置しており、現在も地域と学校との協働活動を通じて子どもたちの健全な育成を図っています。また、生活の中に伝統と文化が息づき、伝統芸能をはじめとする多様な文化芸術に触れる機会がある本市の特性も活かしながら、地域の皆様のご協力もいただき、まち中にスポーツ・文化芸術があふれる子どもを真ん中にしたウェルビーイングなまちの実現に向け、「京都版地域クラブ（仮称）」と「放課後活動」をより良いものにしてまいりたいと考えております。

子どもたちの視点

- ✓ 新たなスポーツや文化芸術・STEAMとの出会い
- ✓ 楽しみたい子ども、頑張りたい子ども、極めたい子どもマルチ志向の子にも
- ✓ 競技経験者や専門的な指導者の指導を受けられる
- ✓ 学校の枠を越えた新たな仲間
- ✓ 子ども達の選択肢を豊かに

指導者の視点

- ✓ 指導者としての活躍
- ✓ 指導力の向上

学校・教員の視点

- ✓ 兼職兼業制度で希望する教員は指導を継続
- ✓ 教員の負担軽減による学校教育活動の質的向上

地域クラブを実施する団体の視点

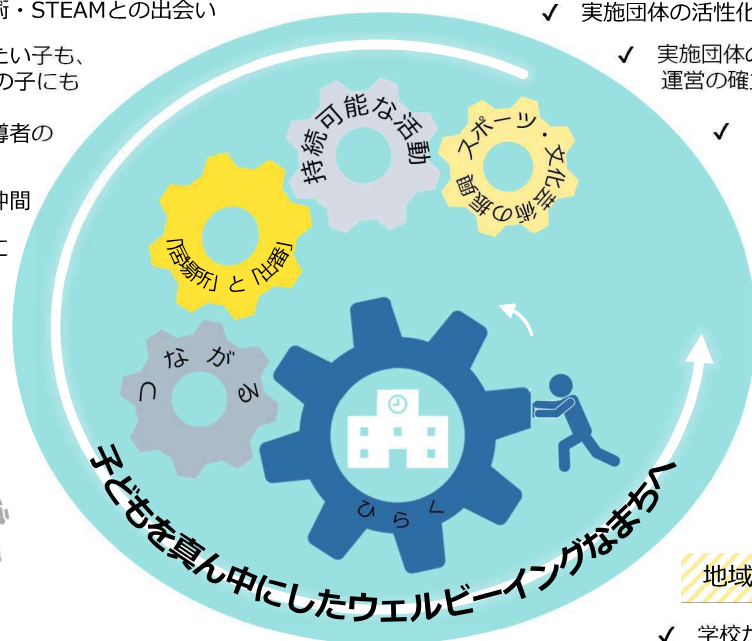
- ✓ 実施団体の活性化
- ✓ 実施団体の持続可能な運営の確立
- ✓ 大学のまち「京都」。大学生も活動をサポート

保護者の視点

- ✓ 家庭の経済状況に左右されない
- ✓ 子どもを安心して任せられる

地域の視点

- ✓ 学校が地域の拠点に
- ✓ 地域コミュニティの活性化
- ✓ 地域クラブへの参画機会が拡充



「京都市学校部活動及び地域クラブ活動推進方針」案に対するご意見記入用紙

属性

- 小学生
- 中学生
- 高校生
- 大学生
- 保護者
- 教職員
- スポーツ関係者（指導者等）
- 文化芸術関係者（指導者等）
- その他



※ 複数回答可

年齢

- ～19歳
- 20歳代
- 30歳代
- 40歳代
- 50歳代
- 60歳代
- 70歳代～

お住まい

- 北区
- 上京区
- 左京区
- 中京区
- 東山区
- 山科区
- 下京区
- 南区
- 右京区
- 西京区
- 伏見区
- 京都市外



1 全体についてのご意見

2 「京都版地域クラブ（仮称）」、「放課後活動」についてのご意見

3 今後の諸課題についてのご意見

応募期間 2025年 2月 28日（金）～ 3月 31日（月）まで

提出方法

ホームページフォーム
電子メール
FAX
持参・郵送

<https://www.city.kyoto.lg.jp/templates/pubcomment/kyoiku/0000337189.html>
taiken@edu.city.kyoto.jp
075-551-9551
〒605-0004 京都市東山区大和大路通三条下る東入若松町393
元有濟小学校内 2階 体育健康教育室（学校体育担当）

